

世界の主な地震

令和元年（2019 年）7 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

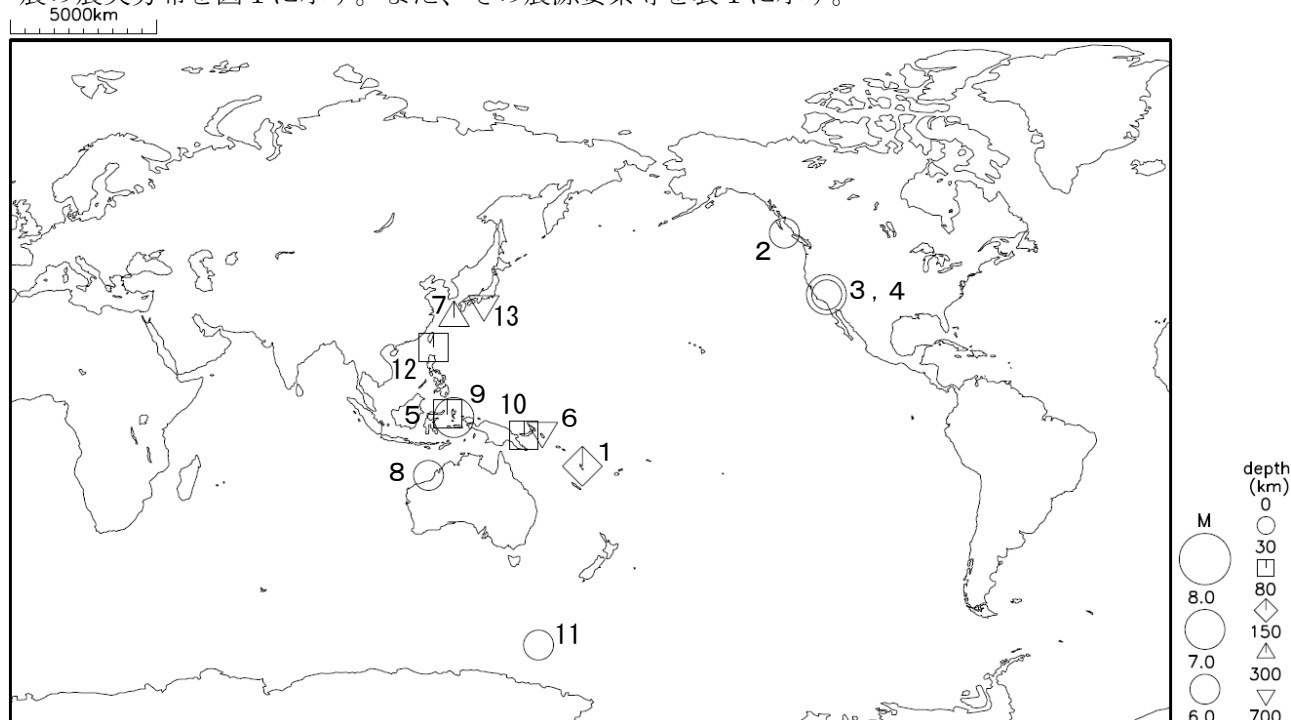


図 1 令和元年（2019 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 令和元年（2019 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	07月02日02時13分	S15° 26.2′	E167° 31.4′	97			6.0	バヌアツ諸島			
2	07月04日13時30分	N51° 13.2′	W130° 30.9′	10			6.2	カナダ、クイーンシャーロット諸島			
3	07月05日02時33分	N35° 42.3′	W117° 30.3′	11			6.4	米国、カリフォルニア州中部			
4	07月06日12時19分	N35° 46.1′	W117° 35.9′	8			(7.0)	米国、カリフォルニア州中部			○
5	07月08日00時08分	N 0° 30.7′	E126° 11.3′	35			6.9	モルツカ海北部		○	
6	07月12日02時08分	S 4° 39.4′	E155° 13.7′	507			6.0	ブーゲンビルーソロモン諸島			
7	07月13日09時57分	N29° 14.1′	E128° 10.7′	256		6.0	(6.1)	奄美大島北西沖			
8	07月14日14時39分	S18° 12.1′	E120° 20.2′	10			6.6	オーストラリア、ウェスタンオーストラリア			
9	07月14日18時10分	N 0° 31.7′	E128° 05.5′	10			(7.2)	インドネシア、ハルマヘラ	死者6人		○
10	07月15日17時21分	S 5° 59.4′	E149° 33.1′	59			6.2	パプアニューギニア、ニューブリテン			
11	07月23日19時33分	S61° 17.6′	E154° 03.7′	10			6.0	パレニー諸島			
12	07月27日08時37分	N20° 50.5′	E121° 54.2′	31		6.0	(6.0)	フィリピン付近	死者9人など		
13	07月28日03時31分	N33° 09.6′	E137° 23.8′	393		6.6	(6.3)	三重県南東沖		○	

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2019 年 7 月 31 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9 時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
- ※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。

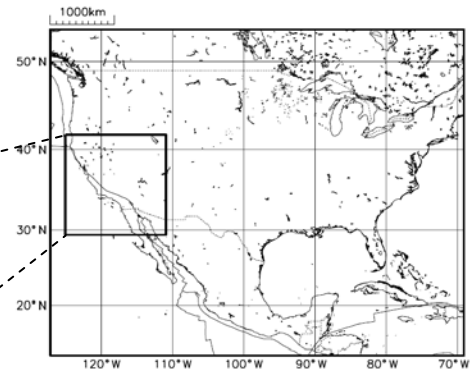
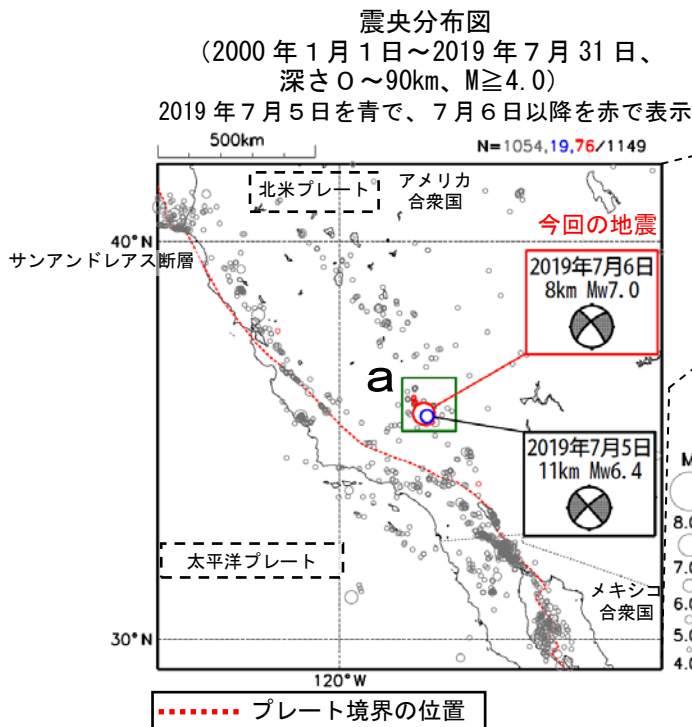
7月6日 カリフォルニア州中部の地震

2019年7月6日12時19分（日本時間、以下同じ）に、北米西部、カリフォルニア州中部の深さ8kmでMw7.0の地震が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

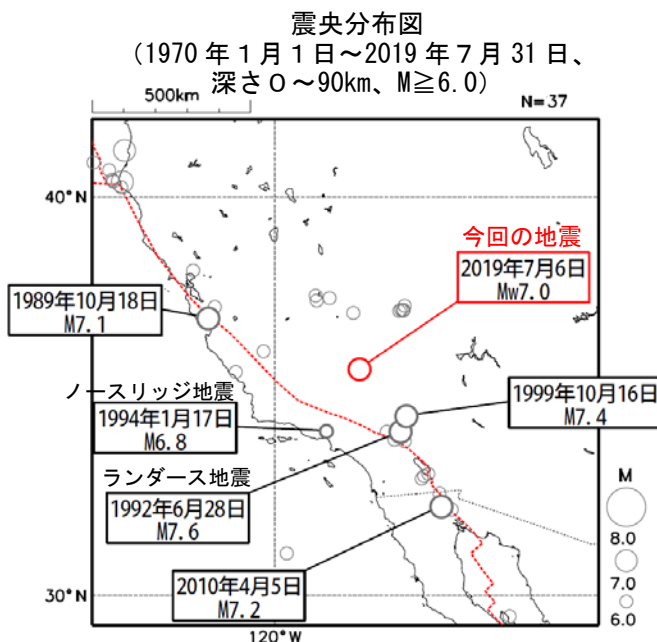
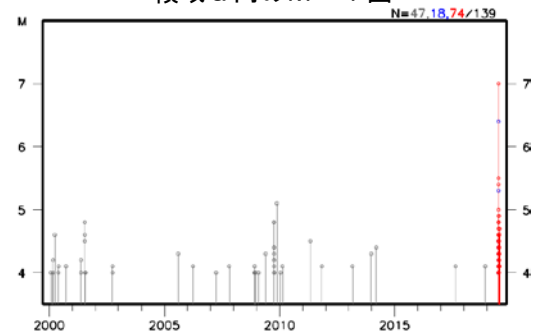
気象庁は、この地震により、同日12時52分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

なお、今回の地震の震央付近では、今回の地震が発生した前日の7月5日02時33分にMw6.4の地震が発生している。

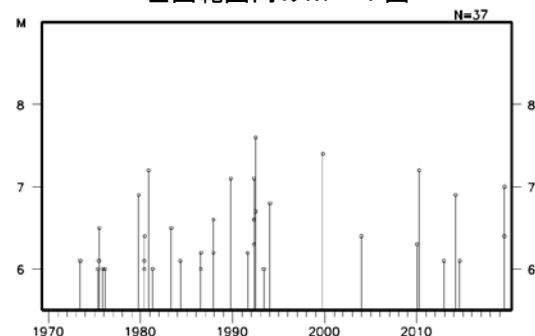
1970年以降の地震活動を見ると、カリフォルニア州ではM7.0以上の地震が時々発生している。1992年6月28日に発生したM7.6の地震（ランダース地震）では、死者1人、負傷者約400人等の被害が生じた。また、1994年1月17日に発生したM6.8の地震（ノースリッジ地震）では、死者60人、負傷者約9000人等の被害が生じた。



領域a内のM-T図



左図範囲内のM-T図



※本資料中、今回の地震の発震機構とMwは気象庁による。その他の地震について、発震機構はGlobal CMT、その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による（7月31日現在）。プレート境界の位置はBird（2003）*より引用。被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

気象庁作成

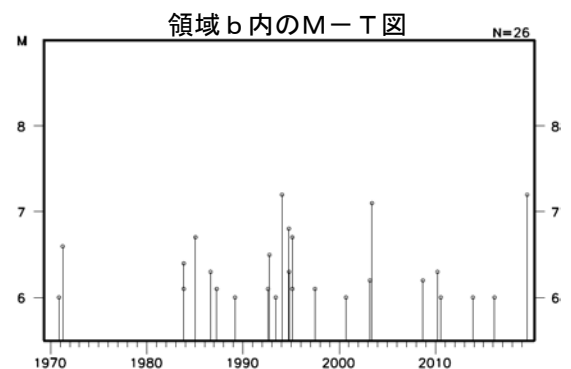
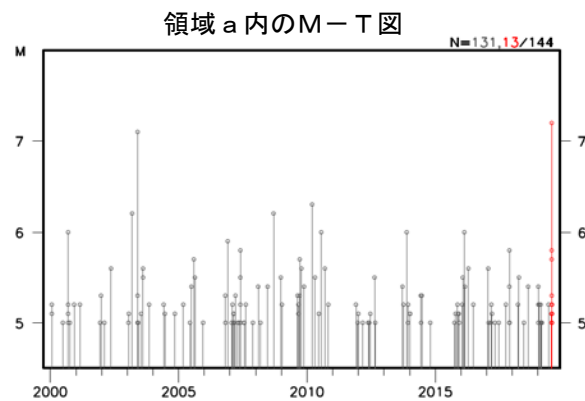
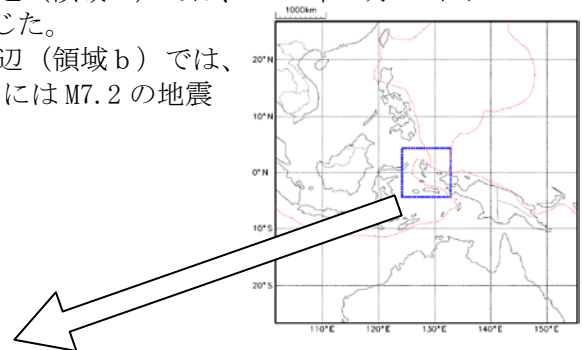
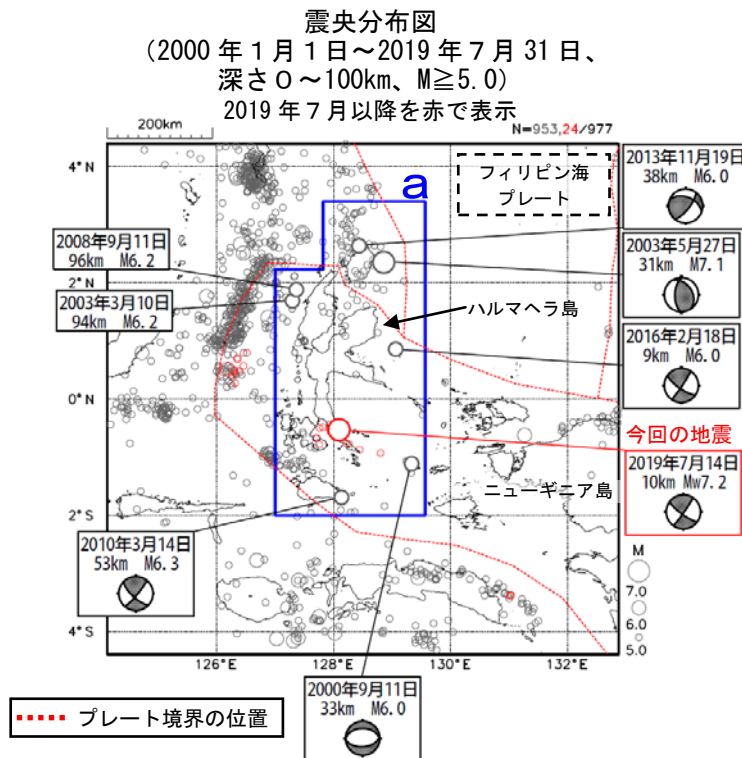
7月14日 インドネシア、ハルマヘラの地震

2019年7月14日18時10分（日本時間、以下同じ）に、インドネシア、ハルマヘラの深さ10kmでMw7.2の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震により、死者6人の被害が生じた。

気象庁は、この地震により、同日18時41分に遠地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。

2000年以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、2003年5月27日にM7.1の地震が発生し、死者1人、負傷者7人などの被害が生じた。

1970年以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。1994年1月21日にはM7.2の地震が発生し、死者7人、負傷者40人などの被害が生じた。



※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構はGlobal CMTによる。また、1970年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2019年7月31日現在）。プレート境界の位置はBird（2003）*より引用。今回の地震の被害については、OCHA（国連人道問題調整事務所）による。それ以外の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」（宇津（1990）、Utsu（2002）、宇津（2004、改定・更新版））による。

*参考文献

- Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.
- 宇津徳治, 1990, 世界の被害地震の表（古代から1989年まで）, 宇津徳治, 東京, 243 p.
- Utsu, T., 2002, A list of deadly earthquakes in the World: 1500–2000, in *International Handbook of Earthquake and Engineering Seismology Part A*, edited by Lee, W.K., Kanamori, H., Jennings, P.C., and Kisslinger, C., pp. 691–717, Academic Press, San Diego.
- 宇津徳治, 2004, 世界の被害地震の表（古代から2002年まで）, 宇津徳治先生を偲ぶ会, 東京, 電子ファイル最終版. 改定・更新版: <http://iisee.kenken.go.jp/utsu/index.html>.

気象庁作成